

ホクレン営農支援情報

(2022年4月号)

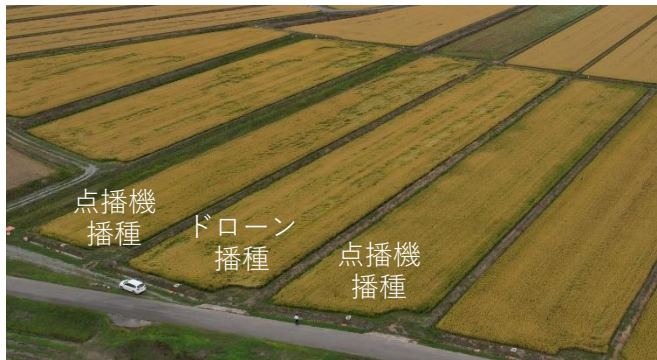
●ドローンによる水稲湛水直播試験への取り組み《岩見沢支所 営農支援室》

ホクレン岩見沢支所では、水稲播種作業の省力化を目指し、令和3年度にJAきたそらちスマート農業技術研究会、JAきたそらち振興課・米穀課、空知農業改良普及センター北空知支所、ホクサン株式会社と連携し、ドローンによる水稲の湛水直播の実証試験に取り組みました。

深川市内と北竜町内の2カ所で実施した試験の結果、点播機で播種した隣接圃場と生育や収量・品質はほぼ同等という結果でした。一方で、ドローンによる播種ではムラが生じるなどいくつかの問題も分かったことから、今年度も引き続き試験に取り組みます。



ドローンを使用した播種の様子（令和3年5月撮影）

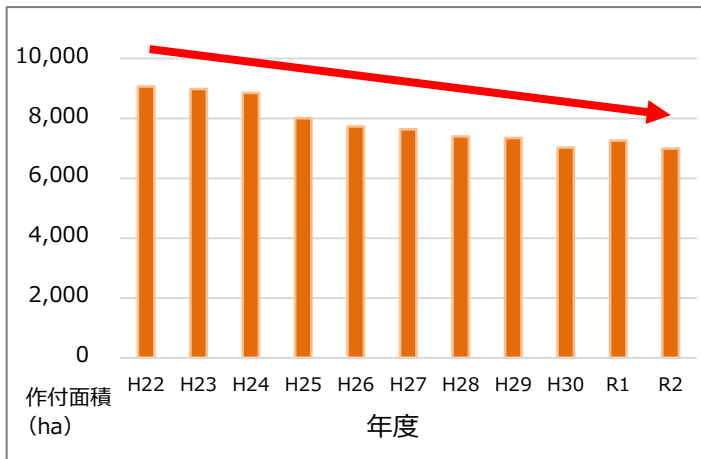


試験圃場（令和3年9月撮影）

●かぼちゃの収穫省力化に向け品種選定を開始します《作物生産研究部 園芸作物

開発課》

道内におけるかぼちゃの作付面積の減少は、年々進んでおり（平成22年から10年で約2,000ha減）、主な要因として収穫時の負担が大きいことが挙げられ、重要な課題となっています。そこで、ホクレン園芸作物開発課では、果実探索やピックアップにかかる労働時間や負担の軽減を目指すため、各種苗会社と連携し、着果位置が揃う品種の選定を開始します。将来的には収穫機械等との連動も視野に入れ、課題解決に向けた取り組みをしていきます。



道内のかぼちゃ作付面積の推移（農林水産省 作物統計より）



かぼちゃ収穫の様子（アグリポートチャンネルより）

●タイストール用搾乳ロボットの導入《訓子府実証農場 畜産技術課》

ホクレン訓子府実証農場では、タイストール牛舎における労働負荷軽減などの課題解決に向け、タイストール用搾乳ロボット（Milkomax 社 RoboMax、代理店(株)ピュアライン）を昨年12月に導入しました。1月より搾乳を開始し、導入直後は凍結対策や操作方法の習熟といった課題がありましたが、3月には自動運転で11頭の搾乳を行っております。今後、タイストール用搾乳ロボットの導入を検討されている方々の視察、研修の受け入れをしていきますので、ご興味のある方は、支所営農支援室までご連絡ください。



搾乳ロボット外観



ロボットでの搾乳

●労働力不足解消に向け「農業求人サイト」を開設しました 《営農支援推進課》

JA グループ北海道では、パート従業員やアルバイトの募集などの職業紹介事業を実施するJAを後押しするため、農業求人サイトを試験的に開設しました。昨年9月に農業求人サイトのJA向け説明会を開催し、後志、空知、石狩、胆振の5JAが参加を希望。3月7日から順次運用を開始し、今後1年間を試験期間としています。

今回制作した農業求人サイトは、「アルキタ」や「しゅふきた」などの地域密着型求人サイトや大手求人検索サービスなど複数媒体に同時掲載することで露出度をアップし、求人広告



JA グループ北海道 求人サイト トップページ

のアクセス数や応募数増が期待できるところが魅力となっています。

詳細については、支所営農支援室までご連絡ください。



<https://hp-kita.com/ja-dosanko>

●アグリポート VOL.36 を発刊 《営農支援推進課》

4月1日にアグリポート VOL.36 を発刊しました。今回の特集は「作業着 STYLE」です。お揃いのユニフォームや家族で楽しむ作業着、年代別のおすすめコーディネートと、機能性だけではない作業着の持つ力をふんだんに盛り込んでいます。

そのほか、北海道農政部解説による2022年の品目別の営農ポイントでは、作業に当たっての留意点から、新しい技術、注目の新品種まで掲載しています。





発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp